

認証年度:令和5(2023)年度

電気機械器具



にちれいこうぎょうかぶしきかいしゃ
日冷工業株式会社



〒329-4415

栃木県栃木市大平町真弓1570番地

<https://www.nrk-h.co.jp>

新大平下駅下車 車で約5分、佐野・藤岡インターチェンジより約20分

お問い合わせ先

TEL:0282-43-3311

FAX:0282-43-1940

Email:nakayama@nrk-h.co.jp

ここがセールスポイント

サステナビリティの実現に向けて

当社では、SDGs達成に向けて、“環境配慮製品の開発製造” “ダイバーシティ経営の促進” “再生可能エネルギー”の3つの柱を重点取り組みとして掲げ、持続可能な社会の実現に向け会社一丸となって取り組んでいます。

会社概要

代表者名 上杉 昌弘
資本金 1,780万円
年商 非公開
従業員数 191名
設立 1958年12月1日
取得規格 ISO9001
KES(ステップ2)

わが社の《カーボンニュートラルに向けた気液分離器》にはこんな特徴があります！

近年、2050年カーボンニュートラル実現に向け、冷凍サイクルに用いられる冷媒は、温室効果の影響が極めて小さいグリーン冷媒への転換が進められています。

こうした動きを鑑み、当社では高度なステンレス加工技術により、小型・高性能はそのままに、高圧のグリーン冷媒にも対応可能な気液分離器を商品化しました。

【特徴】

- ・硬いステンレスの厚肉材を独自絞り技術により、高耐圧化を実現
- ・高度な縮管技術により、小型・コンパクト化を実現
- ・絞り加工での構成により本体一体化を実現、漏れ信頼性の向上
- ・ステンレス材(SUS316L材)の採用により耐食性が大幅に向上
- ・高周波ろう付けによる安定した商品の見栄え



気液分離器(高耐圧仕様)

主な拠点・主要取引先

拠点:本社・工場(栃木市)、海外拠点:工場(上海市)
取引先:株式会社日立製作所、日立製作所グループ各社、他

事業内容

家電・自動車機器・産業機器等の各種冷熱製品用
冷凍サイクル配管・部品及び冷熱製品の設計・製造



代表取締役社長 上杉 昌弘

社長からのメッセージ

従来、気液分離器を構成する素材は銅とアルミが中心でした。しかし、銅は近年地金高騰の影響でコストが上昇しており、アルミは耐圧能力に限界があります。その課題を克服するべく、安定した素材と加工方法の開発を進めてきました。一方、CO2冷凍サイクルにおいては、高耐圧化の顧客要求もあり、当社の絞り技術で何とか硬いステンレス鋼を容器に仕上げられないか試行錯誤した結果、今回高耐圧商品の実現に成功しました。

これからも日冷工業は、環境負荷の低減に向けた技術の追求に全力をあげ、製品を通じた快適な環境づくりに、より一層の努力を続けてまいります。

その他にもこんなものを造っています！

冷凍サイクル用配管の製造基幹技術をもとに冷凍サイクルユニットの製造にも力を入れております。

これまで培った生産技術力を駆使し、家電産業機器、輸送機器などの冷凍サイクル用の配管を製造しています。銅・ステンレス・鉄・アルミをはじめ、どんな材質にも挑戦しております。



幅広いニーズにお応えした、小型冷凍サイクルユニットの設計・製造および、生産受託について対応いたします。

